

龍・流連携事業報告書

事業名	市立中学2年生および市立小学校高学年対象の救急救命授業		年度	平成30年度
	龍ヶ崎市	危機管理課		
担当部署	流通経済大学			
実施日及び回数	5月24日ほか 8回		実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校体育館，武道場 ・流経大スポーツ健康センター救命トレーナー室
人数	事業対象者：798人 大学協力者：教職員 2人 ・ 学生延べ 93人			
実績及び成果 (事業内容)	<p>当市は、市内を日常生活圏とする小中学校の児童・生徒が、心停止事例に遭遇した際に、勇気をもって胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行い、かつ、コンビニエンスストアや市立小中学校屋外などに設置のAEDを積極的に使用することで、救命できる可能性を向上できるものと捉え、その体制および環境の整備を目的に、「龍・流連携事業」として、同大スポーツ健康科学部の稲垣准教授、小粥教授、同学部の学生およびライフセービングクラブの学生に、監修と指導支援をいただいております。</p> <p>なお、平成30年度は、市立中学校6校の2学年および市立小学校3校の高学年に救命法を学ぶ授業を行い、計798人の児童・生徒が所期の課程を修了しました。</p> <p>今後も、「龍・流連携事業」として継続的に取り組んでいくことにより、救命率の向上を図るとともに、こどもたちには、「自分も人を助けることができる」ことの自己肯定感を育むなど、人間形成のための教育的機会になるものと考えます。</p>			